

② 廃校を活用した資料館等

資料2-3

No.	名称	住所/HP	廃校年	旧校名	施設概要	体験プログラム	地域概要(特徴)
1	三ヶ日みかんの里資料館	浜松市北区三ヶ日町福長70番地の20 (www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/noushin/culture_art/mikannosato_siryokan/index.html)	平成11年	旧三ヶ日町立三ヶ日西小学校大福寺分校	<p>全国に誇るみかんブランド「三ヶ日みかん」をテーマとした資料館</p> <p>みかんの歴史や文化などの情報発信基地であるとともに、訪れた人が地域や三ヶ日みかんについて楽しく学ぶ場所として位置付けられている。</p> <p>「みかんの教室」. 三ヶ日みかんの歴史や栽培方法に関する展示 「ふるさと農業資料館」. 昔の農機具を展示</p>	地元有司による活動組織が、四季を通じて、みかんにちなんだ各種イベントやみかんや農業に関するいろいろな講座も開催している。	旧三ヶ日町は、かつて静岡県引佐郡にあった町で、現在は浜松市北区の一部となっています。 温州みかんの産地として全国的に有名です。 三ヶ日で栽培される温州みかんの歴史は古く、天保年間の頃に始められました。 その後、明治時代に栽培が定着し、戦後になると新たなみかん園の拡大造成やインフラの整備がさらに進みました。 近年では飲料大手メーカーと提携した「三ヶ日みかんハイボール」、出版大手・小学館の書籍「あたらしいみかんのむきかた」のワークショップへの協力など新たな取り組みが行われています。
2	下仁田自然史館	群馬県甘楽郡下仁田町大字青倉158-1 (www.shimonita-geopark.jp/shizenshikan/index.html)	平成20年	旧下仁田町立青倉小学校	<p>『～多様な大地の変動から古代人の足音まで～「ジオパーク」の魅力について知ることができる資料館』</p> <p>「下仁田町自然史館」は廃校を利用した、「下仁田ジオパーク」の魅力を知ることができる資料館である。 「下仁田ジオパーク」は、群馬県甘楽郡下仁田町の全域をテリトリーとし、地質学的な資源が多数点在し、地質の宝庫といわれ日本でも地質的に貴重な場所と言われている。平成23年9月に日本ジオパークネットワークへの加盟が認定された。ジオサイトの一つである荒船風穴(国の史跡)は平成26年6月にユネスコの世界遺産に登録された。</p>	展示室では、学校の雰囲気を感じながら野外だけでは理解できない「下仁田ジオパーク」の魅力について知ることができます。	群馬県下仁田町は、 世界的レベルの地質学的な資源がたくさんあり地質の宝庫 といわれ日本でも5指に入るほど貴重な場所と言われています。当地域には、日本列島形成に関する多様な地殻変動の痕跡を見ることができ、町内の鍋川沿いの段丘の上には、 石器・縄文時代の遺物を出土する遺跡が多数 存在します。 そのような様々な変動を受けてきた大地により、独特の地形・気候を作り出し、「 下仁田ネギ 」や「 下仁田コンニャク 」などの 名産物 が誕生し、大地の遺産を利用して下仁田の町が成立しています。
3	日野市郷土資料館	東京都日野市程久保550 (www.city.hino.lg.jp/museum)	平成14年	旧日野市立高幡台小学校	<p>『歴史・民俗・自然を中心に、さまざまな分野で日野市に関する資料の収集・保管・調査研究・展示・講座・学習会を行う』</p> <p>平成17年4月「日野市ふるさと博物館」は「日野市郷土資料館」と名称を変更し、現在地に移った。歴史・民俗・自然のほか様々な分野で日野に関する資料の調査研究、展示、講座、体験学習会といった活動を行っている。また、体験学習センターを開設し、学校教育や市民の自主的学習活動との連携事業を充実させている。</p>	<p>■企画展(直近の例) 「七生丘陵ハイキングコース 今・昔」 会期 平成28年7月16日から平成28年10月23日</p> <p>日野市域南部は、植物・野鳥・昆虫など身近な自然を楽しめる場所です。50年前位には人気の観光スポットでした。尾根道からの素晴らしい景色、コース沿いの楽しい観光地. . . 現在の高尾山のように、遠足や観光にと多くの人々が訪れていました。この展示では、現在の丘陵で出会える自然、かつてのハイキングコース、周辺の観光地などを紹介いたします。</p> <p>■講座・イベント(直近の例) ○夏休み子ども講座 探検！高幡不動と勝五郎生まれ変わり物語 平成28年7月24日(日)</p>	甲州街道の農業を中心とした宿場町として繁栄していた。 新選組の副長として活躍した土方歳三 や六番組隊長の井上源三郎の出身地。また市内最大の大企業である国内トラック・バス業界最大手 日野自動車の企業城下町 でもある。 昭和に入ってからは大規模企業や大規模団地が進出しているものの、河川や丘陵地が多く、国土交通省より「 水の郷百選 」に 認定されるなど自然も多い 。また、多摩地区としては水田や野菜畑などの農地が占める割合が高く、都市農業の代表的な都市として紹介されることが多い。
4	東京おもちゃ美術館	東京都新宿区四谷4-20 (goodtoy.org/ttm/)	平成19年	旧新宿区立四谷第四小学校	<p>『おもちゃを創る、遊ぶ、学ぶ、楽しむ。多世代交流のミュージアム』</p> <p>赤ちゃんからお年寄りまでの多世代にとって、豊かな出会いと楽しみを有するミュージアムである。 ○市民立の美術館 「一口館長制度」に基づくお金の寄付と、ボランティアスタッフである「おもちゃ学芸員」の時間の寄付によって成り立っている「市民立」のミュージアム ○親子と遊ぶ美術館 親と子どものコミュニケーション、それから得られる共感や信頼、また感性を創出できるよう、グッド・トイやおもちゃ学芸員が応援する。 ○文化を伝える美術館 和の色や木の文化、それに伝承遊びなど、次世代に語り継いでいく。 ○世代を繋ぐ美術館 さまざまな世代の方が、おもちゃを媒介にコミュニケーションがとれる環境を提供する。</p>	<p>■イベント(直近の例) ○作る ・国産材でつくる マイ箸づくり 平成28年8月17日(水) ・「カブトムシ」を作ろう！ 平成28年8月24日(水) ・「おままごとキッチン」を作ろう！ 平成28年8月30日(火) ○遊ぶ ・プリオビルダーで遊ぼう！ 平成28年7月30日(土) ・プラスプラスで遊ぼう！ 平成28年8月21日(日)</p> <p>■企画展(直近の例) ○中国玩具とアジアのおもちゃ 平成28年4月16日～9月25日 ○マトリョーシカとロシアの玩具 平成28年1月11日～4月10日</p>	多田信作が「人間が初めて出会うアートはおもちゃなのでは？」という理念で、おもちゃを「見る」「借りて遊ぶ」「作る」「調べる」の4つの特徴を備えたそなた美術館として、1984年10月10日、東京・中野にある芸術教育研究所の付属施設として「おもちゃ美術館」を開館しました。美術館は2007年9月に閉館しましたが、 日本グッド・トイ委員会が新宿区の小学校で「おもちゃフォーラム」を開催した縁 で、2007年春に閉校した旧四谷第四小学校校舎を運営していた 地域住民の誘致 により、2008年4月20日、「東京おもちゃ美術館」として移転・再開しました。

② 廃校を活用した資料館等

No.	名称	住所/HP	廃校年	旧校名	施設概要	体験プログラム	地域概要(特徴)
5	長野市立博物館 分館 戸隠地質化石博物館	長野県長野市戸隠栃原 3400 (www.tgk.janis.or.jp/toga kushi-museum/)	平成17年	旧長野市立柵小 学校	<p>『山奥の少し変わった博物館』</p> <p>旧柵小学校の校舎を利用したユニークな博物館。太古の昔、戸隠地区一帯は海であった。その証拠を示すホタテガイやクジラ、ダイカイギュウなどの化石を展示。</p> <p>化石のクリーニング体験もできる。</p> <p>来館者が資料と親しみ、その魅力を発見してもらう場所(ミドルヤード)を創ろうと考えました。キュラトリアルワークルーム(博物館体験室)や化石クリーニング室などは、そうした体験学習のための場所である。</p>	<p>■イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察教室 ・植物観察会 ・植物館わくわく入門 ・カブトムシの会 ・地層見学バスツアー ・化石をさがそう ・火山灰から宝さがし ・ホネのひみつ <p>■企画展(直近の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科教材アレコレ～懐かしい実験道具の世界～ <p>平成28年3月19日(土)～6月26日(日)</p>	